



マイタビもいろいろなアイデアを出してくる。山の中で自分で料理を作って楽しみましようというものである。フードコーディネーターの佐々木恵美さんがスタッフとして加わっていた。それぞれ1人前ずつビニールパックに小分けされたスピラレーというパスタを茹でて、それにマッシュルーム・シーチキンにケチャップで味付けをしたものが主で、豆乳にコーンを入れたスープも作った。まあまあ食べたといったところである。あいにく雨がぱらついてしまったので最寄のあずまやの下での食事となった。しかも別のパーティーがテーブルを占拠していたので、隅の方でささやかにやるしかなかった。コンロやコップルを使うのは2004年の甲斐駒の時以来である。

男はペアーで来ていたジイサマと俺だけ。女は6人。

ツアーコンダクターはメインがマイタビの社員で普段はマイタビの機関誌などの編集をやっているという小野さんで、ツアーに出るのはめったにないということ





である。サブは身長 170 cm 以上はあると思われるスタイルが良くて若くてかわい  
い村山さんである。最近マイタビも新しいガイドが多くなったので、月に 1  
回くらいの出番しかないということだ。

小野さんの話によると、御殿場線の谷峨駅は三角屋根で、鉄道の駅でこれは  
珍しいということだ。“キーテキいっせい新橋を”の鉄道唱歌にもこの辺りを歌  
ったものがあり、駅のそばに碑が作られている。“いでてはくぐるトンネルの/  
前後は山地・小山駅/今も忘れぬ鉄橋の/下ゆく水のおもしろさ”と書かれて  
いるらしい。

山頂にもあったが、道のところどころに蘭次郎さんという人が作ったチェ  
ーンソー彫刻なるものが置かれている。なぜチェーンソーで作らなければいけ  
ないのかとか、それによ  
る特徴などは解らない  
が、おそらく特注品で  
作ったのであろう。テ  
レビのドキュメント番  
組で紹介されているの  
を見たことがあるよう  
な気がする。

登りが 2 時間ちょっ  
と降りが 1 時間半ほど  
歩数計は 21,901 歩、普  
段のスポーツジムと多  
摩川散歩の歩数よりも  
少なかったの足の筋  
肉痛もいつもより軽い。

